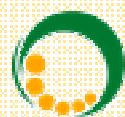


魚沼市立小中学校再編方針(案)

保護者・地域説明懇談会



魚沼市教育委員会

1 魚沼市の現状

- ・ 児童生徒数の推移
- ・ 各学校の状況

2 小中学校の適正規模

- ・ 標準的な学校の規模
- ・ 教職員の配置

3 再編の基本方針

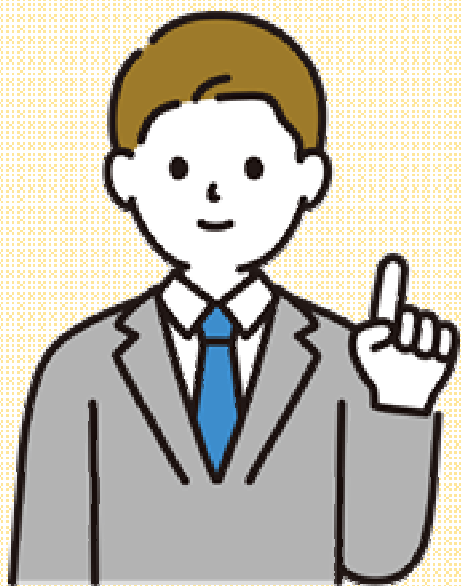
- ・ 基本的な考え方

4 学校の再編(案)

- ・ 小学校の再編 (案)
- ・ 中学校の再編 (案)

5 今後の進め方

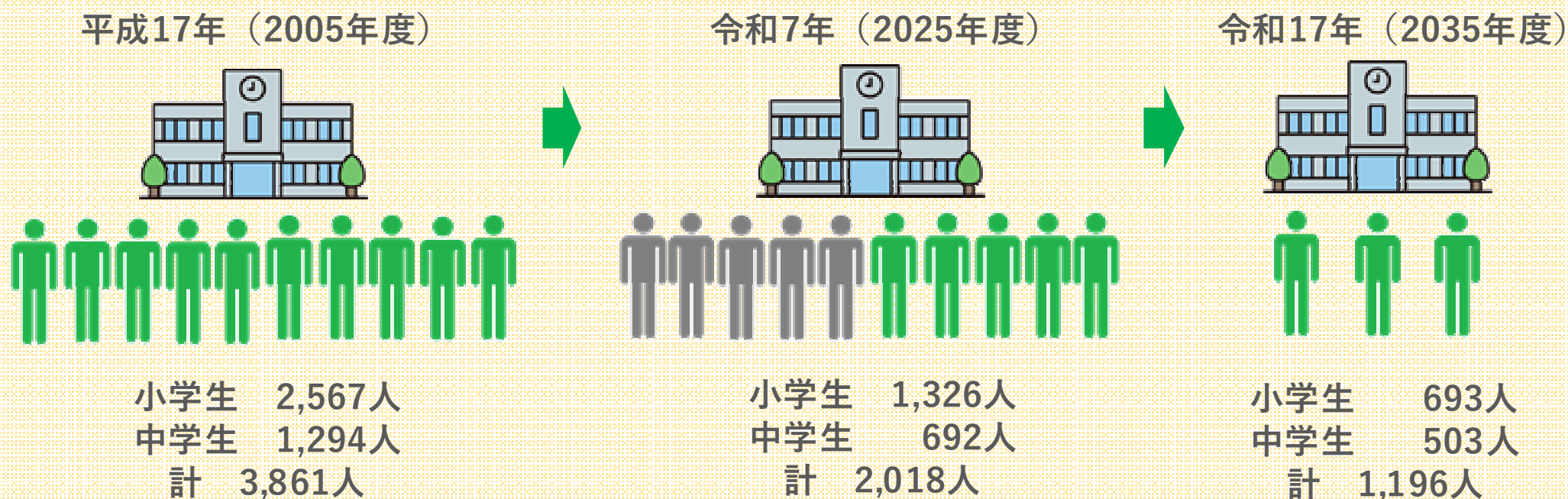
- ・ 検討委員会を組織
- ・ 今後のスケジュール
- ・ その他資料



児童生徒数の推移

03

人口の減少に伴い児童生徒数が急速に減っています・・・



過去**20年間**で市内の児童生徒数は**約半数**にまで減少・・・

10年後にはさらに**半減**

各学校の状況 【宇賀地小学校 児童数・学級数推計】

宇賀地小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	61	5	※複式学級が発生している状態
R8 (2026)	60	5	複式学級が発生している状態
R9 (2027)	65	6	一次的に児童数が増加し、複式学級解消
R10 (2028)	63	6	全ての学年が単式学級
R11 (2029)	59	6	全ての学年が単式学級
R12 (2030)	55	5	複式学級が発生している状態
R13 (2031)	44	5	複式学級が発生している状態
R14 (2032)	39	4	複式学級が2学級発生している状態
R15 (2033)	34	4	複式学級が2学級発生している状態
R16 (2034)	32	4	複式学級が2学級発生している状態
R17 (2035)	31	4	複式学級が2学級発生している状態

※複式学級：2つ以上の学年で1クラスが構成されるクラス
※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

今後の状況

- 令和9年度（2027）に一次的に複式学級は解消しますが、令和12年度から再び複式学級が発生し、それ以後は複式学級が継続します。
- 令和14年度（2032）から複式学級が2学級発生し、それ以後、その状態が継続していきます。

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	16	10	10	7	6	6	5	5	5	5	5
2年	10	16	10	10	7	6	6	5	5	5	5
3年	10	10	16	10	10	7	6	6	5	5	5
4年	9	10	10	16	10	10	7	6	6	5	5
5年	5	9	10	10	16	10	10	7	6	6	5
6年	11	5	9	10	10	16	10	10	7	6	6
計	61	60	65	63	59	55	44	39	34	32	31

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	5	5	6	6	6	5	5	4	4	4	4



各学校の状況【堀之内小学校 児童数・学級数推計】

 堀之内小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	200	7	複数クラス（2学級）の学年有
R8 (2026)	204	8	複数クラス（2学級）の学年有
R9 (2027)	200	9	複数クラス（2学級）の学年有
R10 (2028)	189	8	児童数減少期、複数クラス減少
R11 (2029)	169	8	児童数減少期が継続
R12 (2030)	162	8	児童数減少期が継続
R13 (2031)	148	8	児童数減少期が継続
R14 (2032)	128	7	児童数減少期が継続、複数クラス減少
R15 (2033)	107	6	※全ての学年が単式学級となる
R16 (2034)	98	6	全ての学年が単式学級となる
R17 (2035)	101	6	全ての学年が単式学級となる

※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1 年	30	36	37	25	13	21	16	16	16	16	16
2 年	28	30	36	37	25	13	21	16	16	16	16
3 年	34	28	30	36	37	25	13	21	16	16	16
4 年	35	33	28	30	36	37	25	13	21	16	16
5 年	41	36	33	28	30	36	37	25	13	21	16
6 年	32	41	36	33	28	30	36	37	25	13	21
計	200	204	200	189	169	162	148	128	107	98	101

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1 年	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
2 年	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
3 年	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
4 年	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1
5 年	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
6 年	1	2	2	1	1	1	2	2	1	1	1
計	7	8	9	8	8	8	8	7	6	6	6

今後の状況

■令和10年度（2028）から児童数の減少が加速し、令和15年（2033）以降、全ての学年が単式学級となり、その状態が継続していきます。



各学校の状況【伊米ヶ崎小学校 児童数・学級数推計】

伊米ヶ崎小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	75	6	全ての学年が単式学級を維持
R8 (2026)	68	6	児童数減少期、単式学級を維持
R9 (2027)	68	※ 5	複式学級が発生している状態
R10 (2028)	60	5	複式学級が発生している状態
R11 (2029)	55	5	複式学級が発生している状態
R12 (2030)	48	4	複式学級が2学級発生している状態
R13 (2031)	44	5	複式学級が発生している状態
R14 (2032)	46	4	複式学級が2学級発生している状態
R15 (2033)	40	4	複式学級が2学級発生している状態
R16 (2034)	40	4	複式学級が2学級発生している状態
R17 (2035)	41	4	複式学級が2学級発生している状態

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1年	10	5	13	7	6	6	7	7	7	7	7
2年	13	11	5	13	7	6	6	7	7	7	7
3年	11	13	11	5	13	7	6	6	7	7	7
4年	14	11	13	11	5	13	7	6	6	7	7
5年	13	15	11	13	11	5	13	7	6	6	7
6年	14	13	15	11	13	11	5	13	7	6	6
計	75	68	68	60	55	48	44	46	40	40	41

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	6	6	5	5	5	4	5	4	4	4	4

※複式学級：2つ以上の学年で1クラスが構成されるクラス
※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

今後の状況

- 令和9年度（2027）から複式学級が発生し、その状況が継続していきます。
- 令和12年度（2030）から複式学級が2学級発生し、一次的に1学級に戻りますが、それ以後、その状態が継続していきます。
※1年生を含む複式学級の基準は8人のため、前年度と児童数が同数でも学級数が減少する場合有り



各学校の状況【小出小学校 児童数・学級数推計】

 小出小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	394	14	全学年が2～3学級を維持
R8 (2026)	378	13	児童数減少期、複数クラス減少
R9 (2027)	366	12	児童数減少期、複数クラスは維持
R10 (2028)	360	12	児童数減少期、複数クラスは維持
R11 (2029)	342	12	児童数減少期、複数クラスは維持
R12 (2030)	334	12	児童数減少期、複数クラスは維持
R13 (2031)	309	12	児童数減少期、複数クラスは維持
R14 (2032)	285	12	児童数減少期、複数クラスは維持
R15 (2033)	263	11	児童数減少期、一部学年で単式学級発生
R16 (2034)	244	11	児童数減少期、一部学年で単式学級発生
R17 (2035)	230	11	児童数減少期、一部学年で単式学級発生

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1 年	58	64	60	55	48	49	33	40	38	36	34
2 年	58	58	64	60	55	48	49	33	40	38	36
3 年	66	57	58	64	60	55	48	49	33	40	38
4 年	60	66	57	58	64	60	55	48	49	33	40
5 年	73	61	66	57	58	64	60	55	48	49	33
6 年	79	72	61	66	57	58	64	60	55	48	49
計	394	378	366	360	342	334	309	285	263	244	230

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1 年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2 年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3 年	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2
4 年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
5 年	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
6 年	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	14	13	12	12	12	12	12	12	11	11	11

※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

今後の状況

- 令和8年度（2026）から児童数の減少が進み、令和15年（2033）以降、一部の学年で単式学級が発生します。
- 令和17年度（2035）以降は、単式学級のみとなる学年が徐々に増加していく見込みです



各学校の状況 【湯之谷小学校 児童数・学級数推計】

 湯之谷小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	239	10	全学年が2学級を維持
R8 (2026)	230	9	一部の学年で単式学級が発生
R9 (2027)	227	11	一部の学年で単式学級が発生
R10 (2028)	215	10	一部の学年で単式学級が発生
R11 (2029)	207	9	一部の学年で単式学級が発生
R12 (2030)	187	8	児童数減少期、複数クラス減少
R13 (2031)	169	7	児童数減少期、複数クラス減少
R14 (2032)	167	7	児童数減少期、複数クラス減少
R15 (2033)	155	6	全ての学年が単式学級となる
R16 (2034)	148	6	全ての学年が単式学級となる
R17 (2035)	144	6	全ての学年が単式学級となる

※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	38	29	38	32	28	22	20	27	26	25	24
2年	42	38	29	38	32	28	22	20	27	26	25
3年	36	42	38	29	38	32	28	22	20	27	26
4年	44	36	42	38	29	38	32	28	22	20	27
5年	41	44	36	42	38	29	38	32	28	22	20
6年	38	41	44	36	42	38	29	38	32	28	22
計	239	230	227	215	207	187	169	167	155	148	144

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
2年	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1
4年	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1
5年	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1
6年	1	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1
計	10	9	11	10	9	8	7	7	6	6	6

今後の状況

- 令和7年度（2025）から単式学級の学年が発生し、それ以後、徐々に単式学級の学年が増加します。
- 令和15年度（2033）から全学年が単式学級となり、それ以後、その状態が継続していきます。



各学校の状況【須原小学校 児童数・学級数推計】

 須原小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	86	6	全ての学年が単式学級を維持
R8 (2026)	82	6	全ての学年が単式学級を維持
R9 (2027)	67	6	児童数減少期、単式学級を維持
R10 (2028)	57	5	複式学級が発生している状態
R11 (2029)	50	5	複式学級が発生している状態
R12 (2030)	41	4	複式学級が2学級発生している状態
R13 (2031)	34	4	複式学級が2学級発生している状態
R14 (2032)	26	3	複式学級が2学級発生している状態
R15 (2033)	25	3	複式学級が2学級発生している状態
R16 (2034)	25	3	複式学級が2学級発生している状態
R17 (2035)	25	3	複式学級が2学級発生している状態

※複式学級：2つ以上の学年で1クラスが構成されるクラス
※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	12	8	6	5	5	5	5	0	5	5	5
2年	14	12	8	6	5	5	5	5	0	5	5
3年	12	14	12	8	6	5	5	5	5	0	5
4年	15	12	14	12	8	6	5	5	5	5	0
5年	21	15	12	14	12	8	6	5	5	5	5
6年	12	21	15	12	14	12	8	6	5	5	5
計	86	82	67	57	50	41	34	26	25	25	25

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
2年	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
5年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	3

今後の状況

- 令和10年度（2028）から複式学級が発生し、その状況が継続していきます。
- 令和12年度（2030）から複式学級が2学級発生し、それ以後、その状態が継続していきます。



各学校の状況【広神西小学校 児童数・学級数推計】

 広神西小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	119	6	全ての学年が単式学級を維持
R8 (2026)	104	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R9 (2027)	103	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R10 (2028)	99	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R11 (2029)	91	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R12 (2030)	80	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R13 (2031)	74	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R14 (2032)	62	5	複式学級が発生している状態
R15 (2033)	52	5	複式学級が発生している状態
R16 (2034)	48	4	複式学級が2学級発生している状態
R17 (2035)	38	4	複式学級が2学級発生している状態

<児童数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	11	18	16	10	16	9	5	6	6	6	6
2年	20	11	18	16	10	16	9	5	6	6	6
3年	24	20	11	18	16	10	16	9	5	6	6
4年	14	24	20	11	18	16	10	16	9	5	6
5年	17	14	24	20	11	18	16	10	16	9	5
6年	33	17	14	24	20	11	18	16	10	16	9
計	119	104	103	99	91	80	74	62	52	48	38

<学級数>

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4

※複式学級：2つ以上の学年で1クラスが構成されるクラス
※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

今後の状況

- 令和14年度（2032）から複式学級が発生し、その状況が継続していきます。
- 令和16年度（2034）から複式学級が2学級発生し、それ以後、その状態が継続していきます。



各学校の状況 【広神東小学校 児童数・学級数推計】

 広神東小学校

年度	児童数	学級数	学級編成の状況
R7 (2025)	152	6	全ての学年が単式学級を維持
R8 (2026)	152	6	全ての学年が単式学級を維持
R9 (2027)	148	6	全ての学年が単式学級を維持
R10 (2028)	141	6	全ての学年が単式学級を維持
R11 (2029)	128	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R12 (2030)	127	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R13 (2031)	117	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R14 (2032)	110	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R15 (2033)	99	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R16 (2034)	86	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持
R17 (2035)	83	6	児童数減少期、全ての学年が単式学級を維持

< 児童数 >

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	24	18	22	24	14	25	14	11	11	11	11
2年	25	24	18	22	24	14	25	14	11	11	11
3年	27	26	24	18	22	24	14	25	14	11	11
4年	30	27	26	24	18	22	24	14	25	14	11
5年	25	31	27	26	24	18	22	24	14	25	14
6年	21	26	31	27	26	24	18	22	24	14	25
計	152	152	148	141	128	127	117	110	99	86	83

< 学級数 >

	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

※単式学級：1学年が1クラスで構成されるクラス

今後の状況

■令和11年度（2029）から児童数の減少が加速し、単式学級は維持できますが、児童数は減少していきます。



学校の適正規模について（その1）

国のガイドライン

- 標準的な小学校のサイズ

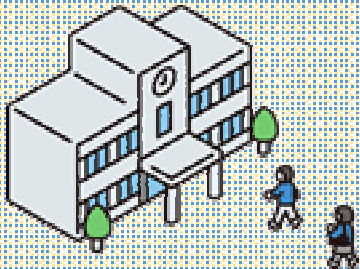
12～18学級

- ・各学年2～3クラス
- ・通学距離が4km程度

- 標準的な中学校のサイズ

9～18学級

- ・各学年3～6クラス
- ・通学距離が6km程度



人数が少ないとこんな「心配」が考えられます。

- 🔍 人間関係が固まる
ずっと同じメンバーなので、人間関係が固定されがちです。
- 🔍 視野が狭くなる
意見が偏りやすく、広い視点で物事を見る機会が減ります。
- 🔍 集団活動の幅が狭まる
スポーツの試合や合唱等、集団活動の規模や機会が減ります。
- 🔍 教師の負担が重くなる
教師の人数が少なくなるため、一人当たりの負担が重くなり、授業準備等が不十分になる可能性があります。

小規模校における教育活動のメリットもあります。

- 🔍 きめ細かな個別指導
教師が児童の学習状況や性格を深く把握でき、一人ひとりの理解度や達成度に応じた個別指導が可能となります。
- 🔍 一人ひとりが活躍できる機会の確保
学校行事や委員会活動などで、全員がそれぞれの役割や責任ある立場を経験することができます。
- 🔍 深い人間関係の構築
少人数の集団において、児童や教師同士が長期間にわたり密接に関わることで、互いの内面や考え方を深く理解し合うことができます。

「魚沼市小中学校の教育環境の在り方に関する答申書」より

06

子どもたちにとって望ましい教育環境

少人数の利点をいかし、児童生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導を行うことで、学力の定着や自己肯定感の向上が期待される。一方で、大勢で協力して取り組む活動の楽しさや達成感を味わうこと、多様な考え方や価値観に触れることで、視野を広げ、他者を尊重することを学びながら、社会性を育む環境を提供することも重要である。

「魚沼市小中学校の教育環境の在り方に関する答申書」抜粋

人数が適正だとこんな「良いこと」が期待できます・・・

① 新しい発見がある



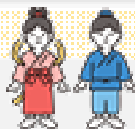
自分と違う考えの人に出会えて考え方が深まります。

① 刺激し合える



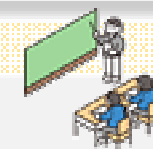
仲間と教え合ったり、競ったりできます。

① 経験が広がる



運動会や委員会活動等で、色々な役割を体験できます。

① 授業がより充実する



中学校では専門の教師が揃うので、より深く分かりやすい授業になります。

学校の適正規模について（その2）

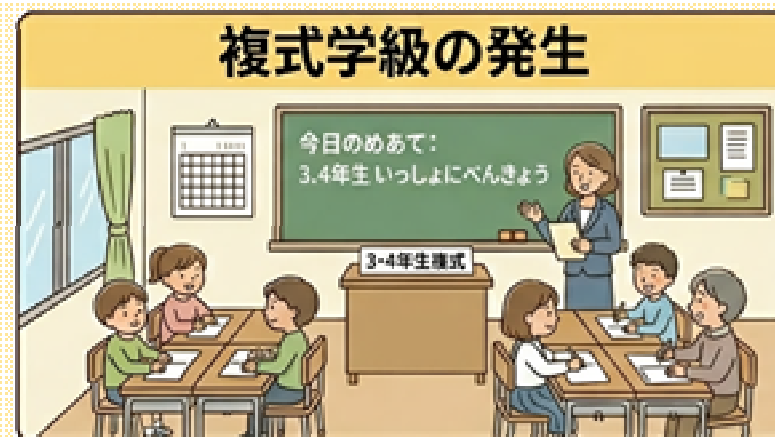
児童生徒数が減っていくと、どんな課題があるの？・・・

教育面における課題

- ❗ 少人数による複式学級の発生
 - ↳ 2つ以上の学年で構成されるクラス
 - 【例：3年生と4年生で1つの学級となります】
- ❗ 単式学級によりクラス替えができない
 - ↳ 1学年に1クラスしかない状況

学校運営面における課題

- ❗ 配置される教員数が減少
 - ↳ 中学校では教科担任の確保が困難
 - 【例：9教科に対して、7人しか教師が配置されない状況】
- ↳ 将来的に免許外指導の可能性が発生
- 【例：数学の教師が社会を教える状況】



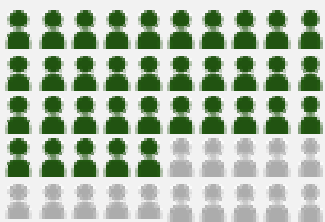
学校の適正規模について（その3）

1クラスあたりの人数と、複式学級になる基準・・・

小学校

1クラスの上限人数

35人
以下



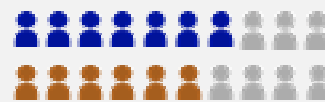
（※1・2年生は32人以下も可）

複式学級の基準

【例】3年生：7人 4年生：6人

16人
以下

計13人となるため複式学級が発生！

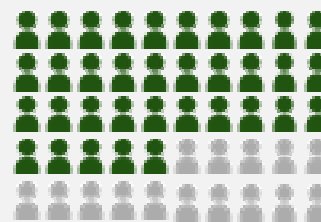


（※1年生を含む組み合わせの場合は8人以下）

中学校

1クラスの上限人数

35人
以下



（※R8年度の2・3年生は40人以下）

複式学級の基準

8人
以下



※特別支援学級の基準は別に定められています。
（本スライドは通常学級のための基準）



学校の適正規模について（その4）

教職員配置の仕組み・・・

子どもの人数が決定

学級数（クラス数）
が決定

学校に配置される
教員数が決定

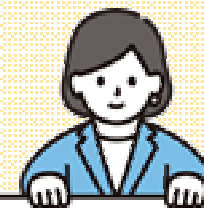
学校に配置される教師の人数は、子どもの人数ではなく「学級数（クラスの数）」に応じて決まる仕組みです。

教科担任制について・・・

中学校は教科ごとに免許を持った教師が教える「教科担任制」です。



9教科（10科目）の授業を行うためには10人以上の教師が必要です。



9教科（10科目）

国語	社会	数学
理科	音楽	美術
保体	技・家	英語

❗ 小規模校ではすでに教師の人数が不足

小規模校では、配置される教師が10人以下の場合があります（※3学級の場合、7人の配置）
この場合、教師の複数校の兼務や非常勤講師で対応します。
やむを得ない場合、教師が免許を持たない教科を教えることがあります（免許外指導）

基本的な考え方（その1）

10

魚沼市立小中学校再編の基本方針について・・・

小学校：令和14年度までに**市内4校体制**へ

複式学級の解消、適正規模の確保、集団教育の充実を目指します。

中学校：令和19年度までに**市内1校体制**へ

全教科で専門教員を配置できる教育環境の確保を目指します。



基本的な考え方（その2）

安心して学校生活を送るための環境づくり・・・💡

① 通学区域と移動手段



一部の児童に過度な負担が掛からないよう配慮します。

スクールバスと公共交通を併用し、安全な通学環境を整えます。

※井口新田の一部(上ノ原、清水上)については、通学距離を考慮し、指定校の選択制の導入等を検討します。

② 安心・安全な学校給食



統合後の学校にある調理場を活用し、暖かく安全な給食を継続します。

③ 既存校舎の有効活用



既存施設を活用して財政負担を軽減します。

統合後の空き校舎の活用方法は、地域の皆様と相談していきます。

④ 放課後児童クラブ



小学校の統合にあわせ、放課後の安心な居場所を確保するため適切な設置場所や移動方法を検討します。

⑤ 環境変化への配慮

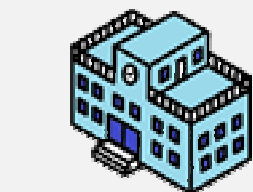
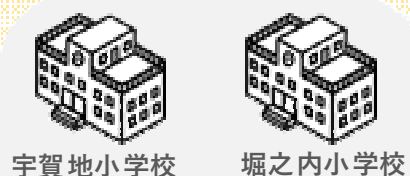


- 事前の交流事業
統合前から学校間の交流を始め、不安を解消します。
- 教員の加配体制
子どもたちの見守り体制強化のため、県教育委員会へ教師の増員を要請します。
- 地域文化の継承
伝統芸能や地域との関わりを維持します。
- 保護者の負担軽減
体操着の変更に伴う、経済的負担を抑えます。
- 統合による学校生活の不安等について、スクールソーシャルワーカーによる相談対応を行います。

基本的な考え方（その3）

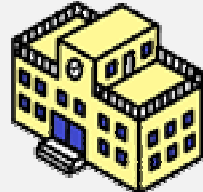
小学校の再編案について・・・

令和11年（2029）4月



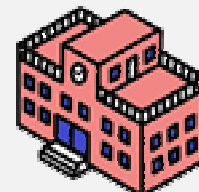
堀之内小学校 校舎活用

令和12年（2030）4月



小出小学校 校舎活用

令和14年（2032）4月



広神西小学校 校舎活用



適正規模を満たすため、単独校で存続



- 1学年2クラス以上の確保を目指します。
- 通学距離を考慮し、隣接した学校との統合を考えました。



各学校の状況 【堀之内地域 仮に小学校2校が統合した場合・・・】 13-1

 統合小学校 ①

年度	宇賀地小学校		堀之内小学校	
	児童数	学級数	児童数	学級数
R7 (2025)	61	5	200	7
R8 (2026)	60	5	204	8
R9 (2027)	65	6	200	9
R10 (2028)	63	6	189	8
R11 (2029)	59	6	169	8
R12 (2030)	55	5	162	8
R13 (2031)	44	5	148	8
R14 (2032)	39	4	128	7
R15 (2033)	34	4	107	6
R16 (2034)	32	4	98	6
R17 (2035)	31	4	101	6

今後の状況

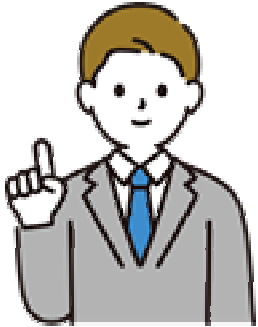
■令和11年度（2029）までに統合することにより、1学級当たりの児童数が増加し、集団活動の充実が図れます。



年度	統合小学校 ①	
	児童数	学級数
R11 (2029)	228	10
R12 (2030)	217	9
R13 (2031)	192	8
R14 (2032)	167	7
R15 (2033)	141	6
R16 (2034)	130	6
R17 (2035)	132	6



参考距離（片道）
堀之内小学校 ⇄ 新道島【4.4km】
⇄ 下島【3.2km】



各学校の状況 【小出地域 仮に小学校2校が統合した場合・・・】

 統合小学校 ②

年度	伊米ヶ崎小学校		小出小学校	
	児童数	学級数	児童数	学級数
R7 (2025)	75	6	394	14
R8 (2026)	68	6	378	13
R9 (2027)	68	5	366	12
R10 (2028)	60	5	360	12
R11 (2029)	55	5	342	12
R12 (2030)	48	4	334	12
R13 (2031)	44	5	309	12
R14 (2032)	46	4	285	12
R15 (2033)	40	4	263	11
R16 (2034)	40	4	244	11
R17 (2035)	41	4	230	11

今後の状況

- 令和12年度（2030）までに統合することにより、1学級当たりの児童数が増加し、集団活動の充実が図れます。
- 統合後、当面の間は全学年2学級を維持していける見込みです。

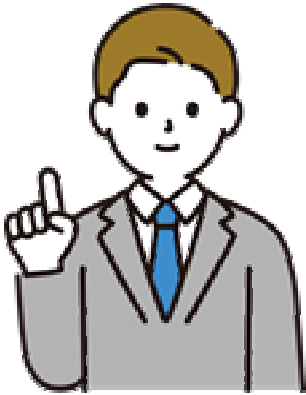


年度	統合小学校 ②	
	児童数	学級数
R12 (2030)	382	13
R13 (2031)	353	13
R14 (2032)	331	13
R15 (2033)	303	12
R16 (2034)	284	12
R17 (2035)	271	12



参考距離（片道）

- 小出小学校 ⇄ 岡新田【6.8km】（11分）
- ⇄ 大浦【4.9km】（9分）



各学校の状況【広神、守門・入広瀬地域 仮に小学校3校が統合した場合・・・】

13-3

 統合小学校 ③

年度	須原小学校		広神西小学校		広神東小学校	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
R7 (2025)	86	6	119	6	152	6
R8 (2026)	82	6	104	6	152	6
R9 (2027)	67	6	103	6	148	6
R10 (2028)	57	5	99	6	141	6
R11 (2029)	50	5	91	6	128	6
R12 (2030)	41	4	80	6	127	6
R13 (2031)	34	4	74	6	117	6
R14 (2032)	26	3	62	5	110	6
R15 (2033)	25	3	52	5	99	6
R16 (2034)	25	3	48	4	86	6
R17 (2035)	25	3	38	4	83	6



年度	統合小学校 ③	
	児童数	学級数
R14 (2032)	198	9
R15 (2033)	176	8
R16 (2034)	159	7
R17 (2035)	146	7

今後の状況

■統合することにより、令和14年度（2032）から須原小学校・広神西小学校の複式学級については解消される見込みです。

 参考距離（片道）

広神西学校 ⇄ 穴沢【14.1km】（18分）
⇄ 中家【 7.2km】（11分）
⇄ 中島【 5km】（8分）

各学校の状況 【市内全域 中学校別生徒数・学級数推計】

年度	魚沼北中学校		広神中学校		湯之谷中学校		小出中学校		堀之内中学校		合計
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
R7 (2025)	42	3	146	6	122	5	240	8	142	6	692
R8 (2026)	36	3	148	6	118	5	247	8	127	6	676
R9 (2027)	43	3	150	6	114	5	252	8	129	6	688
R10 (2028)	48	3	142	6	122	6	256	9	132	6	700
R11 (2029)	48	3	139	6	121	6	238	9	134	6	680
R12 (2030)	41	3	142	6	122	6	223	8	126	6	654
R13 (2031)	38	3	132	5	116	6	216	7	127	6	629
R14 (2032)	34	3	117	5	109	5	208	6	130	6	598
R15 (2033)	26	3	109	5	105	5	211	7	139	6	590
R16 (2034)	19	3	108	5	99	4	204	7	125	5	555
R17 (2035)	16	3	102	4	98	4	189	7	98	4	503
R18 (2036)	15	3	98	3	82	3	171	6	78	3	444
R19 (2037)	15	3	83	3	70	3	149	6	67	3	384
R20 (2038)	10	2	70	3	69	3	142	6	69	3	360

R7年とR17年
を比較すると...

全 体
生徒数 : -189人
減少率 : 27.3%



基本的な考え方（その4）

中学校の再編案について・・・

パターンA

- 令和14年4月
 - ・魚沼北中と広中を統合（統合中①）
 - ・堀中、小出中、湯中は存続
- ↓
- 令和19年4月
 - ・4校で統合中学校を新設（小出中学校舎を使用）

令和14年（2032）4月



魚沼北中学校



統合中学校①

広神中学校 校舎活用



広神中学校



堀之内中学校



小出中学校



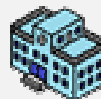
湯之谷中学校

パターンB

- 令和14年4月
 - ・魚沼北中と広中を統合（統合中①）
 - ・堀中、小出中、湯中を統合（統合中②）
- ↓
- 令和19年4月
 - ・4校で統合中学校を新設（小出中学校舎を使用）



魚沼北中学校



統合中学校①

広神中学校 校舎活用



広神中学校



堀之内中学校



湯之谷中学校



統合中学校②

小出中学校 校舎活用



小出中学校

パターンC

- 段階的な統合は行わない
- ↓
- 令和19年4月
 - ・5校で統合中学校を新設（小出中学校舎を使用）



魚沼北中学校



広神中学校



湯之谷中学校



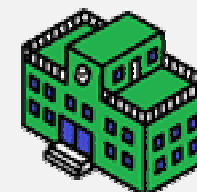
小出中学校



堀之内中学校

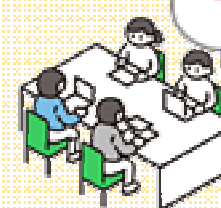
- 1学年3クラス以上の確保を目指します。
- 生徒数の多い小出地区の移動コストが抑えられ、各方面から効率的なバス運行が可能となる小出中学校の校舎利用を考えました。

令和19年（2037）4月



小出中学校
校舎活用

どのパターンが最善か
皆さんで検討しましょう



各学校の状況 【パターンA 魚沼北中学校 + 広神中学校】

16-01

年度	魚沼北中学校		広神中学校	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数
R7 (2025)	42	3	146	6
R8 (2026)	36	3	148	6
R9 (2027)	43	3	150	6
R10 (2028)	48	3	142	6
R11 (2029)	48	3	139	6
R12 (2030)	41	3	142	6
R13 (2031)	38	3	132	5
R14 (2032)	34	3	117	5
R15 (2033)	26	3	109	5
R16 (2034)	19	3	108	5
R17 (2035)	16	3	102	4
R18 (2036)	15	3	98	3

令和14年(2032)4月



魚沼北中学校



広神中学校



統合中学校①
広神中学校
校舎使用



堀之内中学校

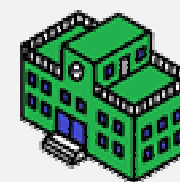


湯之谷中学校



小出中学校

令和19年(2037)4月



小出中学校
校舎使用

年度	統合中学校 ①	
	生徒数	学級数
R14 (2032)	151	6
R15 (2033)	135	6
R16 (2034)	127	6
R17 (2035)	118	5
R18 (2036)	113	5

各学校の状況【パターンB 北中＋広中・堀中＋小出中＋湯中】 16-02

年度	湯之谷中学校		小出中学校		堀之内中学校	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
R7 (2025)	122	5	240	8	142	6
R8 (2026)	118	5	247	8	127	6
R9 (2027)	114	5	252	8	129	6
R10 (2028)	122	6	256	9	132	6
R11 (2029)	121	6	238	9	134	6
R12 (2030)	122	6	223	8	126	6
R13 (2031)	116	6	216	7	127	6
R14 (2032)	109	5	208	6	130	6
R15 (2033)	105	5	211	7	139	6
R16 (2034)	99	4	204	7	125	5
R17 (2035)	98	4	189	7	98	4
R18 (2036)	82	3	171	6	78	3

令和14年（2032）4月


魚沼北中学校


広神中学校


統合中学校①
広神中学校校舎使用

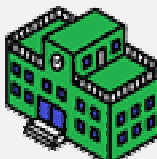

堀之内中学校


小出中学校


湯之谷中学校


統合中学校②
小出中学校校舎使用

令和19年（2037）4月


小出中学校校舎使用

年度	統合中学校 ①		統合中学校 ②	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数
R14 (2032)	151	6	447	15
R15 (2033)	135	6	455	15
R16 (2034)	127	6	428	14
R17 (2035)	118	5	385	12
R18 (2036)	113	5	331	10

各学校の状況

【パターンC

北中、広中、堀中、小出中、湯中】

16-03

年度	魚沼北中学校		広神中学校		湯之谷中学校		小出中学校		堀之内中学校	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
R7 (2025)	42	3	146	6	122	5	240	8	142	6
R8 (2026)	36	3	148	6	118	5	247	8	127	6
R9 (2027)	43	3	150	6	114	5	252	8	129	6
R10 (2028)	48	3	142	6	122	6	256	9	132	6
R11 (2029)	48	3	139	6	121	6	238	9	134	6
R12 (2030)	41	3	142	6	122	6	223	8	126	6
R13 (2031)	38	3	132	5	116	6	216	7	127	6
R14 (2032)	34	3	117	5	109	5	208	6	130	6
R15 (2033)	26	3	109	5	105	5	211	7	139	6
R16 (2034)	19	3	108	5	99	4	204	7	125	5
R17 (2035)	16	3	102	4	98	4	189	7	98	4
R18 (2036)	15	3	98	3	82	3	171	6	78	3
R19 (2037)	15	3	83	3	70	3	149	6	67	3
R20 (2038)	10	2	70	3	69	3	142	6	69	3

令和14年（2032）4月

堀之内中学校

魚沼北中学校

湯之谷中学校

小出中学校

広神中学校

令和19年（2037）4月

小出中学校
校舎活用

年度	新設中学校	
	生徒数	学級数
R19（2037）	384	12
R20（2038）	360	12

今後の進め方について

各学校単位で検討委員会を組織し、子どもたちの教育環境を検討

設置目的：保護者や地域の皆様の意向を反映させ、円滑な学校統合を推進するために設置する組織です。

委員会の内容

■ 委 員

- 保育園保護者代表
- 小学校保護者代表
- 学校運営協議会委員
- 地域住民の代表者
- 学識経験者



計 10人程度

■ 任 期

再編・統合に関する検討を行い、教育委員会へ意見を提出するまでとします。

■ 会 議

委員会は会長が招集し、月1回程度を予定しています。

事務局は教育委員会が行います。

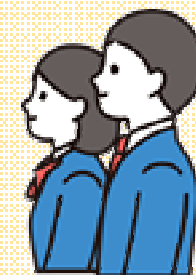
検討する内容

■ 検討事項

- ・ これからの子どもたちの教育環境について
- ・ 地域の皆さんが納得できる、これからの学校について
- ・ その他、円滑な統合を推進するための事項について



検討委員会で話し合った意見を教育委員会へ提出し
学校の再編・統合を決定していきます。



今後の具体的なスケジュールについて・・・

				
	R8.6月～7月	7月～8月	9月～3月	R9年度以降
	説明懇談会 ■ 保護者説明懇談会 小中学校再編（案）の説明 対象：保育園、小学校保護者	■ 地域説明懇談会 小中学校再編（案）の説明 対象：地域住民（どなたでも）	■ 随時、説明会の開催 要請等に応じて随時説明会を開催します。 ※実施を希望される団体は、学校教育課まで連絡をお願いします。	
検討委員会			■ 検討委員会による検討開始 堀之内地域より開始 宇賀地小学校、堀之内小学校	■ 順次、検討委員会の立上げ ～ 検討開始 小出、広神・守門、入広瀬地域の順に検討を開始します。
その他			■ 学校再編に関する講演会 11月頃に市内全域を対象とした有識者による講演会を開催する予定 講師・会場等は未定	

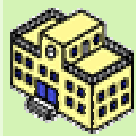
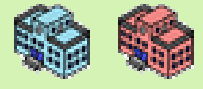
小学校の再編・統合については堀之内地域より検討をスタートし、順次小出、広神・守門、入広瀬地域で進めます。
中学校の再編・統合については、令和11年度（2029年）から再編・統合パターンの検討を始めます。



今後の具体的なスケジュールについて・・・

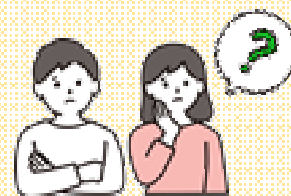


R10年（2028年）以降のスケジュール

学校・学区		R10（2028）	R11（2029）	R12（2030）	R13（2031）	R14（2032）	～R19（2037）
小学校	宇賀地 堀之内	統合準備 →	宇賀地小・堀之内小 統合 統合小① 				
	伊米ヶ崎 小出	統合準備 →		伊米ヶ崎小・小出小 統合 統合小② 			
	須原 広神西 広神東		統合に向けた検討 	統合準備 →		須原小・広神西小 広神東小統合 統合小③ 	
中学校	堀之内 小出 湯之谷 広神 魚沼北		統合に向けた検討 ※統合パターン検討 	統合準備 →		パターンA：統合中学校① パターンB：統合中学校② パターンC：段階的な統合無 	新設中学校 

保護者説明懇談会における意見・質疑

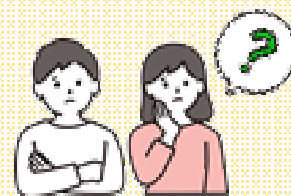
①



20

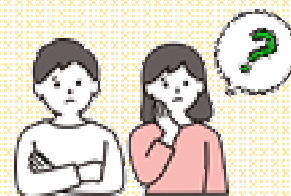
項 目	保護者からの主な意見・質疑、教育委員会の回答及び今後の対応
学級の規模について	Q 複式学級（2つの学年が同じ教室で学ぶこと）のままでも、先生方の手厚い指導があれば悪くないと感じています。現状のサポートを維持して今の学校を存続させることはできないのですか？ 他の学区を編入するなどの方法で、学級を維持する選択肢はありませんか？
	A 現在行っている教師の追加配置や、非常勤講師を増やすといった手厚い対応は、将来の配置ルールや厳しい少子化の進展により、この先もずっと継続できるという保証はないと考えています。 また、学区の見直しによる児童数の確保は、対象となる地域が大幅に広がったり、多くの子どもたちやご家庭・地域に影響が及ぶため、学区の見直しは行わず、近隣の学校を統合することが望ましいと判断いたしました。
新しい環境への配慮	Q 人数が少ない学校から大勢の学校へ移る子どもたちが、新しい環境になじめるか心配です。いじめや孤立などのトラブルは起きないのでしょうか？ 中学生になる直前の高学年期だけでなく、もっと低学年のうちから日常的に交流できる機会を作ってもらえませんか？
	A 統合によるトラブルが起きないように、教師が細やかに目を配ることや低学年のうちから両校での体験活動を増やすなど、事前の交流プログラムをより手厚く計画してまいります。また、新しい環境へのスムーズな移行のために教師を多く配置できるよう要望していきます。

保護者説明懇談会における意見・質疑 ②



項 目	保護者からの主な意見・質疑、教育委員会の回答及び今後の対応
新しい環境への配慮	Q 「大勢のクラスになって指導が行き届かなくなっているのではないか」という不安な話も聞きます。指導体制やケアはどうなっていますか？ A 市内の学校には、クラスの枠にとらわれず、複数の教師で学年全体をきめ細かく見守る「チーム担任制」などの取り組みを推奨しています。 複数の目で子どもたちを見守ることで、一人ひとりの状況をしっかり把握いたします。また、不安を抱える子どもたちのために、教師の充実やスクールソーシャルワーカー等の相談員を配置して対応します。
多様な学びにむけて	Q 単に子どもの数に合わせて学校の規模を大きくまとめるだけでなく、特色ある魅力的な教育はできるのですか？ 大勢の中で活動することが苦手な子どもへの配慮や、子どもたちが深く学びたいと思う探究学習などを、統合後にどのように実現していくのですか？ A 学校の統合により、適切な教師の人数と、子どもたちが互いに切磋琢磨できる多様な集団生活を確保した上で、特色ある教育を進めていくことを考えております。 地域の皆様や学校運営協議会と知恵を絞り、それぞれの学校ならではの活動を取り入れ、魅力ある新しい学校づくりを進めます。

保護者説明懇談会における意見・質疑 ③



項 目	保護者からの主な意見・質疑、教育委員会の回答及び今後の対応
統合後、学校を新設した場合の制服や体操着等について	Q 統合に伴って、新しい制服や体操着、あるいは校名や校歌などは新しくなるのですか？ もし新しく変更される場合、買い直すための家庭の費用負担が重くなってしまいます。負担への補助や、経過措置などは考えてもらえますか？
	A 新設統合の場合、制服や体操着等については、在校生はそのまま現在のものを使い続け、新しく入学する子どもたちから順に新調するといった、ご家庭の負担を最小限に抑える方法を考えております。校名や校歌についても、地域の皆様と相談しながら丁寧かつ慎重に決めてまいります。
今後の進め方について	Q この再編方針（案）のまま、決定されるのですか？ 当事者である子どもたちの気持ちや声をしっかりと受け止めてほしいです。
	A この再編方針は「決定」ではなく「スタートとしての案」であり、皆様の合意なしに進めることはできません。今後は各学校単位で話し合うための検討委員会を立ち上げ、保護者をはじめ、当事者である子どもたちへのアンケート等も行いながら、再編を進めてまいります。
校舎の跡地利用について	Q 閉校した後の学校跡地がそのままにされず、地域のために有効活用されるか心配です。 具体的な計画はあるのでしょうか？
	A 閉校後の校舎の利活用については、具体的な計画はありません。 地域の皆様と協議を進めてまいります。

近隣自治体の学校再編の状況・・・

- ・児童生徒数、学校数については学校基本調査（R7）より抜粋
- ・再編方針・計画については、自治体HPより抜粋
- ・市立の特別支援学校、児童生徒数については含まない

自治体名	R7児童生徒数	再編方針・計画	R7学校数	再編後の学校数 （目標）	再編に向けた状況等
南魚沼市	児童：2,433人 生徒：1,391人	方針等の有無：無 ※小学校・中学校における適正規模及び適正配置に関する答申	小学校：16校 中学校：4校	小学校：4校 中学校：4校	中学校については、過去の再編計画により、すでに市内4校に再編済み。 小学校については、地域の合意形成に基づき、将来的に各中学校区に1校の計4校とする見込み。
小千谷市	児童：1,321人 生徒：795人	方針等の有無：無 ※小千谷市立小中学校の在り方について（答申）	小学校：8校 中学校：5校	小学校：－ 中学校：－	R7年度から「学校再編計画」策定にむけて地区懇談会を順次開催している状況。 再編後の将来的な学校数等については、現段階では明示されていない。
十日町市	児童：1,917人 生徒：976人	方針等の有無：有 第2次十日町市立小・中学校の学区適正化方針 ※中学校は提言により見直し	小学校：16校 中学校：10校	小学校：5校 中学校：1校	R元年度からの10年間を計画期間として再編に向けた取組を継続中。 なお、将来的な中学校の数については、1校との報道発表有り。
見附市	児童：1,735人 生徒：918人	方針等の有無：有 見附市学校適正配置計画	小学校：8校 中学校：4校	小学校：4～6校 中学校：1校	R8年3月に「見附市学校適正配置計画」を策定。小学校については、R11年度までに6校（将来的には4～6校）、中学校についてはR21年度以降に1校に再編予定。
魚沼市	児童：1,326人 生徒：692人	方針等の有無：有 魚沼市立小中学校再編方針（案）	小学校：8校 中学校：5校	小学校：4校 中学校：1校	方針（案）に基づき、R8年度より保護者説明懇談会、地域説明懇談会を開催。 説明懇談会後は、堀之内地域より順次検討委員会を立ち上げ、再編を勧める。

終わりに・・・

魚沼市の子どもたちの 未来のために

より良い教育環境の実現に向けて
皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

